



文化財ニュース いわき

第 69 号

平成 24 年 9 月 28 日

財団法人いわき市教育文化事業団

福島県いわき市常磐藤原町手這50-1
(いわき市考古資料館内)

TEL 0246 (43) 0391

がき どうよこあなぐん 餓鬼堂横穴群の発掘調査

—県内初となる木棺をともなう横穴の調査—

【現地説明会 平成24年9月30日(日) 10～12時】

餓鬼堂横穴群は、いわき市平薄磯字餓鬼堂・北ノ作地内に所在し、薄磯海岸の北に突き出た丘陵の東端付近に位置しています。標高約20m前後の崖の中腹には古墳時代（今から約1300～1400年前）のお墓が40基以上つくられていました。発掘調査は平成17年度からおこなわれ、平成23年度までに合計30基の横穴が調査されました。とくに平成22年度に調査した23号横穴と、昨年度調査された30号横穴の天井は、屋根のような形（家形）につくられ、朱色の顔料で装飾されていました。ひとつの横穴群からこうした装飾横穴が2基も発見されることはたいへん珍しいことです。

今年度は9基の調査をおこない、新たな発見が相次ぎました。とくに35号横穴では、木製の棺が3基並んで見つかるとともに、数多くの副葬品が出土しました。今年度の調査成果は、前年度までの内容と合わせ、いわき地方の歴史解明へ大きな役割を担うことになるでしょう。

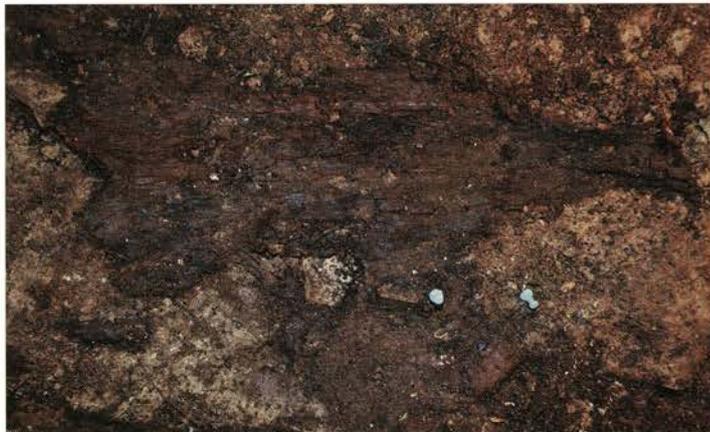


発掘調査前のようす（平成24年7月）

とじておきましょう。



35号横穴の玄室から見つかった3基の木棺（中央の茶色い範囲）



木棺の板材が一部残っていました



へいそくいし
左側の閉塞石が動かされ、大人一人がやっと通り抜けられる
隙間ができていました（調査前）

◆木棺をもつ35号横穴

遺体を納めた部屋（^{げんしつ}玄室）の規模は、全長2.5m、幅2.9m、高さ1.8mを測ります。天井はドームのような形をしています。また、壁に沿うように、排水用の溝が周囲を巡っています。

検出された3基の木棺は、およそ長軸1.7～1.9m、短軸0.3～0.4mを測ります。とくに最も奥壁寄りに残りの良かった1号木棺の両端付近からは200点以上のガラス製小玉と、メノウ製^{まがたま}勾玉・水晶製^{きりこだま}切子玉が出土しました。

横穴に木棺が残っていた例は今のところ県内にはなく、たいへん貴重な発見となりました。

とじておきましょう。



玄室隅にまとめられた土師器・須恵器と鏡・斧 (35号)



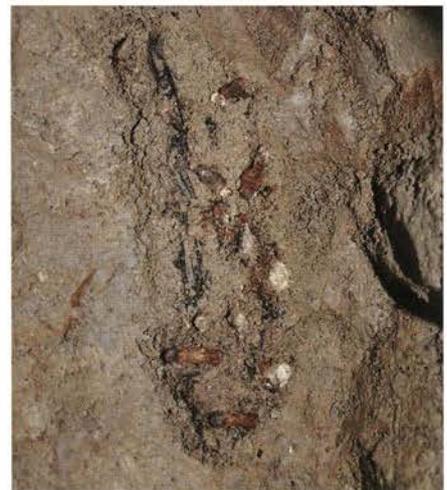
げんもん 玄門付近から出土した円頭大刀の把頭 (35号)



1号木棺の勾玉(左3点)と切子玉(右の2点)(35号)

◆35号横穴の副葬品

てっとう ゆみ どうす
鉄刀・弓・刀子などの武器、馬具のひとつである鉄
あぶみ すずくしろ どうくしろ じかん わん
製の鏡が一組、鈴釧・銅釧・耳環・腕などの青銅製
なつめだま
品、勾玉・コハク製 褒玉・水晶製切子玉・ガラス製
すえき
小玉などの装身具、須恵器(蓋・杯)・土師器(杯)
はじき
などがあります。玉類などの装身具は木棺内を中心に
出土しています。一方、鉄製品の多くは小片で玄室手
前左隅に集中し、土器と鏡や斧は玄室手前右隅に重なり
あって見つかりました。



木片をともなう弓の両頭金具

とじておきましょう。



石製紡錘車と刀子（29号）



玄室左側壁に掘られた「L」字形の溝（33号）



折れた鉄刀と人骨（36号）



奥壁付近で見つかった鉄鏃（37号）

◆他の主要な成果

29号横穴：多数の鉄鏃の他、鉄刀・刀子などの武器、60点を越える玉類などの装身具類、2点の紡錘車ぼうすいしゃなどが出土しました。武器は奥壁寄りに、装身具は玄室中央付近にありました。

33号横穴：玄室は全長2.7m、幅2.8m、高さ1.5mを測ります。玄室左側の壁に沿って、中央よりもやや高く「L」字に溝が掘られています。板石の一部が残っていたことから、長方形に仕切られていたようです。鉄刀1振、刀子2振と人骨が出土しています。また、玄室中央部からはヒトの臼歯と勾玉が見つかっています。

36号横穴：玄室の全長3.2m、幅3.0m、高さ1.5mを測ります。市内でも比較的大型に分類される国指定史跡中田横穴なかだ（2.6m×2.8m）をしのぐ玄室規模をもち、本横穴群でも最大級の大きさです。鉄刀、青銅製の釧と耳環、人骨が玄室の中央付近から見つかりました。これらとほぼ同一の範囲において、木片のひろがり確認されたことから、本横穴も木棺に遺体を納めたものと考えられます。

37号横穴：法面工事により掘削されたため、その全体像は不明ですが、天井が0.7mと低く、29号横穴とは玄室の形態もよく似ています。奥壁付近から鉄鏃が23点出土し、出土状況も29号横穴に似ています。また、小型の土師器甕1点が、右側壁際から出土しています。

とじておきましょう。